

12月12日（木）おまじない

「十二月十二日」と書いた^か半紙^{はんし}を、
^{さか}逆さまに^{いえ}家に^は貼りつけるのは、^{かんさいち ほう}関西地方
に^{つた}伝わる^{どろぼう}泥棒^{よけ}よけのおまじないです。

12月12日は、^{おおどろぼう}大泥棒^{ゆうめい}で有名な
^{いしかわごえもん}石川五右衛門^{かま}が、^{けい}釜ゆでの刑^ひにされた日

としても^{つた}伝わっています。日^ひにちが

^{さか}逆さまに^は貼ってあれば、^{てんじょう}天井^{しの}から^こ忍び込^{どろぼう}んできた^め泥棒の目^にに
^{はい}入^{ぬす}って、^{おも}盗^もみを^{おも}思いとどまるといふことだそうです。

^{ふくしまけん}福島県^{あいづち ほう}の会津地方では、^{かさい}火災^{かさい}よけのために、「十二月十二日」
を^{さか}逆さまに^は貼る^{しゅうかん}習慣^{しゅうかん}があるそうです。これを^{さか}逆さにすると、
「^ひ日^に二十^{げつ}月^に二十^{にち}日」となり「^ひヒ^にト^オオク、^{つき}ツキ^ニクイ」と読める
からだそうです。分^わかりますか。

^{むかし}昔^{ひと}の人は^ちいろんな^え智恵^{つか}を使^{わる}って、^お悪い^おことが^お起き^おないよう
にしたといふことが分^わかります。今^{いま}でも^{のこ}残^いっているといふこ
とは、^{こうか}き^{こうか}っと^{こうか}効果^{こうか}があ^{さか}った^{さか}のでしょう。

「^{いちど}一度^と止^{みぎひだり}まって^{こうつう じ}右^こ左^こ」も^{だいじ}交通^{だいじ}事故^{だいじ}にあ^{だいじ}わ^{だいじ}ない^{だいじ}ための、^{だいじ}大事^{だいじ}
なおまじないだと思^{おも}ってください。

